



新型コロナから教えられたこと

新型コロナウイルスが蔓延した2020年春、ヴィヴィアン・リーチという人が書いた「新型コロナウイルスから人類への手紙」という1通の手紙を紹介します。話題になったので知っておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

人類の皆様へ（コロナウィルスからの手紙）

地球はささやきました。でもあなたがたには聞こえなかった。

地球は話しかけました。でもあなたがたは聞こうとしなかった。

地球は叫びました!でもあなたがたは、

まるでスイッチを消すようにそれを消して、耳を貸しませんでした。

だから私は生まれました。

私はあなたがたを罰するために生まれたのではありません。

あなたがたを目覚めさせるために生まれたのです。

.....(略)

地球の声を聞いてください。

あなたがたの魂の声を聞いてください。

地球を汚染するのをやめてください。

お互いに争うことをやめてください。

物質的なことばかり考えるのをやめてください。

そして、隣人、近い人を愛することを始めてください。

地球とそこにいる全ての生き物を大切に考えることを始めてください。

なぜならこの次私はさらに強力になって帰ってくるかもしれないから。

コロナウィルスより

みなさんは、この詩を読まれてどのように感じられるのでしょうか？私は、新型コロナウイルスから「目を覚ましなさい。本当に大切なものは何？」と問いかけられているように感じました。

これまで人類が犯した「間違っただけの行為」により、地球が大変だと警鐘を鳴らしているのに私たちは聞こうとしませんでした。それでも新型コロナウイルスは私たちに大切なものは何かを教えてくれようとしています。本当に大切な物とは、「地球を大切にすること」「争いをやめること」「物質のことばかり考えないこと」「人を愛すること」「生き物を大切にすること」だと。

新型コロナウイルスは発生しないほうが良かったのは当然なことですが、私たちに立ち止まって考える機会を与えてくれたと考えることができます。手紙の全文がネット上に載っていますので、ご家族と一緒に読んで話し合ってみられませんか。これからの地球に生き、守り、そして未来を創っていくのは子どもたちです。子どもたちが今の時代を生きて本当に大切なことは何かということを考え、行動していかなければなりません。そのことを考える機会にして欲しいものです。

(文責＝青少年育成センター指導員 藤村)